

ミステリーゲーム

遊び方説明書



このたびは、株式会社ハナヤマの「ミステリーゲーム」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず注意事項や遊び方をよく読んでください。なお、この説明書は遊んだ後も大切に保管してください。

ストーリー

ある洋館でホワイト博士が何者かに殺された。洋館の地下室には決して口外してはならない秘密があるという。
ホワイト博士はこの秘密を探ろうとして殺されたようだ。
犯人・犯行に使われた凶器・犯行現場を推理し、このナゾに包まれた事件の真相を暴け！

セット内容

■カード…計16枚



容疑者カード
…4枚



凶器カード
…5枚



部屋カード
…7枚

■遊び方説明書(本紙)…1部

本紙の下部に「探偵メモ」があります。
コピーしてご使用ください。

■犯人プレート…1枚



■チップ…4個



■凶器チップ…5個



■ゲームボード…1枚



■サイコロ…1個



ゲームの準備

- 各プレイヤーのチップを決めます。青は「ピーコック夫人」、赤は「スカーレット嬢」、紫は「プラム教授」、黄は「マスタード長官」になり、ゲームボード上のそれぞれのスタート位置にチップを置きます。
※3人でゲームをする場合は、残ったチップをどこかの部屋へ置いてください。
- 5個の凶器チップをゲームボード上の好きな部屋へ自由に置きます。
- カードを容疑者、凶器、部屋に分けてよく切り、それぞれから1枚ずつ、計3枚を見えないように引き、犯人プレートに裏返したまま置きます。**この3枚のカードが事件の解答になります。**
- 残ったカードは、全部まとめてよく切ってから全員に同じ枚数ずつ配ります。余ったカードはゲームボードの中央に裏返して置きます。各自で受け取ったカードは、誰にも見せないようにしてください。

探偵メモ

容疑者	凶器	部屋
ピーコック夫人	ナイフ	キッチン
スカーレット嬢	毒薬	ダイニングルーム
プラム教授	ピストル	応接室
マスタード長官	ロープ	ベッドルーム
	トロフィー	バスルーム
		ダンスホール
		書斎

探偵メモ

容疑者	凶器	部屋
ピーコック夫人	ナイフ	キッチン
スカーレット嬢	毒薬	ダイニングルーム
プラム教授	ピストル	応接室
マスタード長官	ロープ	ベッドルーム
	トロフィー	バスルーム
		ダンスホール
		書斎

ゲームの流れ

ゲームを開始する前に、各プレイヤーは「犯人」「凶器」「犯行があった部屋」をまず推理します。

①ゲーム開始

じゃんけんをして勝ったプレイヤーから時計回りにゲームを進めます。最初のプレイヤーからサイコロを振り、犯行があったと推理した部屋を目指してチップを進めていきます。(チップの動きは縦と横のみです)

②事件の解決

チップが目指す部屋に到着したら、「事件の解決」にかかります。犯人だと推理した人物のチップと、使われたと思う凶器チップをその部屋に移動します。どこに置いてあっても移動しなければいけません。(右図参照)



③宣言

自分の推理に従い、事件の「宣言」を行います。声に出して次の例のように宣言してください。
(例)「この犯行は、バスルームで、ピーコック夫人が、ナイフを使って行った。」

④チェック

「宣言」を行ったプレイヤーの左隣のプレイヤーが手持ちのカードを「チェック」します。手持ちのカードの中に、「宣言」された容疑者、凶器、部屋のうち、当てはまるカードがあれば、「宣言」したプレイヤーにだけ1枚のみ見せ、推理が間違っていることを教えます。推理が間違っていることが分かったら、次のプレイヤーに順番が移ります。もし手持ちのカードの中に、「宣言」された容疑者、凶器、部屋のカードが1枚もなければパスして、さらに左隣のプレイヤーが手持ちのカードの「チェック」を行います。誰かがカードを見せてくれるまでそれを続けます。
※推理が間違っていたら、「探偵メモ」に記しておきましょう。

Point

- 部屋に入ったチップは、再び自分の順番がきた際にサイコロを振ってチップを進めることをせず、その部屋で続けて「宣言」を行うことができます。
- 他の部屋に呼び込まれたチップは、そのまま留まり、次の順番はその部屋から行います。また、サイコロを振らずに「宣言」することもできます。
- 偽りのパス(「宣言」に対して「チェック」する時、カードがあってもないふりをする事)はできません。

⑤告発

「宣言」したカードをどのプレイヤーも持っていない時、または自分の推理に確信が持てた時には、「告発」することができます。(確信がない場合は「告発」せずに次のプレイヤーに順番が移ります。)
告発する場合は「告発します」と言い、自分の「宣言」を再度声に出して、犯人プレートのカードを他のプレイヤーに見られないように自分だけ確認します。もし「告発」が間違っていた場合は、カードを裏返しのまま犯人プレートに戻してください。

Point

「告発」ができるのは1人1回だけです。間違った「告発」をしたプレイヤーは、チップを進める事も、「宣言」もできません。他のプレイヤーに対して「チェック」することだけをゲームが終了するまで続けます。

ゲームの終了と勝敗

「告発」の結果、自分の「宣言」と犯人プレートに置いてある3枚のカードが同じであれば、そのプレイヤーの勝利でゲーム終了となります。

ハナヤマ お客様相談センター

〒272-0803

千葉県市川市奉免町68

フリーダイヤル: 0120-910-922 (通話料無料)

携帯・PHS・一部のIP電話からは: 047-337-2215

〈受付時間〉月～金(祝・祭日を除く) 10～12時/13～17時

<https://www.hanayamatoy.com>